

JIS

自転車ーベル

JIS D 9451 : 2024

(JBPI/JSA)

令和 6 年 3 月 21 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 消費生活技術専門委員会 構成表

| | 氏名 | 所属 |
|-------|---------|--------------------------------------|
| (委員長) | 大 瀧 雅 寛 | お茶の水女子大学 |
| (委員) | 天 野 美智子 | 株式会社オカムラ |
| | 猪 股 匡 順 | 一般社団法人日本ガス石油機器工業会 |
| | 太 田 秀 幸 | 一般社団法人繊維評価技術協議会 |
| | 河 野 康 子 | 一般財団法人日本消費者協会 |
| | 澤田石 昌 幸 | 一般財団法人家電製品協会 |
| | 関 成 孝 | 一般財団法人製品安全協会 |
| | 武 井 康 之 | 独立行政法人製品評価技術基盤機構 |
| | 辻 加奈子 | 一般財団法人日本文化用品安全試験所 |
| | 寺 山 博 子 | イオントップバリュ株式会社 |
| | 平 井 郁 子 | 大妻女子大学 |
| | 平 野 祐 子 | 主婦連合会 |
| | 星 川 安 之 | 公益財団法人共用品推進機構 |
| | 武 藤 京 子 | 公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・ 相談員協会 |
| | 村 井 正 素 | 公益社団法人消費者関連専門家会議 |

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 36.11.1 改正：令和 6.3.21

官 報 掲 載 日：令和 6.3.21

原 案 作 成 者：一般財団法人自転車産業振興協会

(〒590-0948 大阪府堺市堺区戎之町西 1 丁 3-3 TEL 072-238-8731)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

審議専門委員会：消費生活技術専門委員会 (委員長 大瀧 雅寛)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

| | ページ |
|--|-----|
| 序文 | 1 |
| 1 適用範囲 | 1 |
| 2 引用規格 | 1 |
| 3 用語及び定義 | 2 |
| 4 種類 | 2 |
| 5 部品名称 | 2 |
| 6 構造 | 5 |
| 7 性能 | 5 |
| 7.1 音圧レベル | 5 |
| 7.2 耐久・耐食性 | 5 |
| 7.3 耐衝撃 | 5 |
| 7.4 低温衝撃 | 6 |
| 8 試験 | 6 |
| 8.1 音響性能試験 | 6 |
| 8.2 耐久・耐食性複合試験 | 7 |
| 8.3 衝撃試験 | 7 |
| 8.4 低温衝撃試験 | 7 |
| 9 めっき又は塗装 | 8 |
| 9.1 めっき | 8 |
| 9.2 塗装 | 9 |
| 10 外観 | 9 |
| 11 製品の呼び方 | 9 |
| 12 表示 | 9 |
| 附属書 JA (参考) 電子式 AWD の音響特性及びローバッテリーインジケータ | 10 |
| 附属書 JB (参考) JIS と対応国際規格との対比表 | 11 |
| 解 説 | 13 |

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般財団法人自転車産業振興協会（JBPI）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS D 9451:2007** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

自転車ーベル

Bicycles—Bells

序文

この規格は、2015年に第1版として発行されたISO 14878を基とし、我が国の実情を反映させるため、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で附属書JAは対応国際規格にはない事項である。また、側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、附属書JBに示す。

1 適用範囲

この規格は、JIS D 9111に規定する自転車に用いるベルについて規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 14878:2015, Cycles—Audible warning devices—Technical specification and test methods (MOD)
(ISO 14878では、あらゆる警音器を対象にしているが、この規格ではベルだけを対象としている。)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0205-1 一般用メートルねじ—第1部：基準山形

JIS B 0205-2 一般用メートルねじ—第2部：全体系

JIS B 0205-3 一般用メートルねじ—第3部：ねじ部品用に選択したサイズ

JIS B 0205-4 一般用メートルねじ—第4部：基準寸法

JIS C 1509-1 電気音響—サウンドレベルメータ（騒音計）—第1部：仕様

JIS D 9111 自転車—分類、用語及び諸元

注記 対応国際規格における引用規格：ISO 4210-1, Cycles—Safety requirements for bicycles—Part 1: Vocabulary 及び ISO 8090, Cycles—Terminology

JIS H 8617 ニッケルめっき及びニッケルクロムめっき

JIS K 5600-5-4 塗料一般試験方法—第5部：塗膜の機械的性質—第4節：引っかき硬度（鉛筆法）

JIS Z 2371 塩水噴霧試験方法